

令和8年度 第1学年 国語科 シラバス

教科目標

<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したり力をする養い、日乗生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行うことができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書し、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日乗生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行っている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものに行ったりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1 言葉に出会うために 「朝のリレー」【1】 「野原はうたう」【2】 「はじまりの風」【4】 「情報を聞き取り、要点を伝える」【1】	① ・音声の動きや仕組みについて、理解を深める。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深める。 ・読書が知識や情報を得たり、考えを広げたりするために役立つことを理解する。	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク
5	「季節のしおり 春」 「言葉1 音声の仕組みや動き」【1】 [書く]「話の構成を工夫しよう」【4】 「漢字1 漢字の組み立てと部首」【1】 「漢字に親しもう」【1】	② ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基にとらえる。 ・日常や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、内容を検討する。 ・本や資料からの引用を通して、事実やそれを基に考えたことを書く。 ・考えや根拠が明確になるように、中心と付加、事実と意見などの関係に注意し、話の構成を考える。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基にとらえ、要旨を把握する。 ・相手の反応をふまえながら、自分の考えの伝え方の表現を工夫する。	授業ノート 授業プリント 漢字小テスト テスト
	「ダイコンは大きな根?」【2】 「ちょっと立ち止まって」【3】	③ ・音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読する。 ・場面の展開について、描写を基に積極的にとらえ、学習の見通しをもって表現や心情の変化について話し合う。 ・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって話したり、文章を書いたりする。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的に語句についての知識を深め、練習問題に取り組む。 ・進んで文章の要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合う。 	
6	<p><u>2 新しい視点で</u> 「情報整理のレッスン 比較・分類」 【1】 「情報を整理して説明しよう」 【4】 「言葉2 指示する語句と接続する語句」 【1】</p> <p><u>3 言葉に立ち止まる</u> 「空の詩 三編」 【3】 「言葉3 さまざまな表現技法」 【1】 「比喩で広がる言葉の世界」 【2】 「文法1 言葉の単位」 【1】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現技法を理解する。 ・事象や行為、心情を表す語句を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深める。 ・語句の役割や単語の類別について理解する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基にとらえ、要旨を把握する。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、見通しをもって詩を創作する。 ・表現技法や比喩、言葉の単位について、学習課題に沿って理解を深める。 	<p>音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト</p>
7	<p>「心情を表す言葉」 【1】</p> <p><u>情報×SDGs</u> 「情報収集の達人になろう」 【3】</p> <p><u>いつも本はそばに</u> 「読書を楽しむ」 【1】 「本との出会い」 【1】 「季節のしおり 夏」</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・読書が知識や情報を得たり、考えを広げたりするために役立つことを理解する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 ・文章を読んで、理解したことに基づいて自分の考えを確かなものになっている。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使っている。 ・これまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にする。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、本の魅力や感想を伝え合う。 	<p>音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト</p>
9	<p><u>4 心の動き</u> 「大人になれなかった弟たちに」 【4】 「星の花が降るころに」 【5】 「案内文を書く」 【3】 「推敲 読み手の立場に立つ」 【1】 「言葉4 方言と共通語」 【1】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、使う。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・共通語と方言の果たす役割について理解する。 	<p>音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク 授業ノート 授業プリント</p>

		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基にとらえる。 目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめて、文章を整える。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情の変化などを、描写をもとに積極的に捉え、朗読しようとしている。 場面や描写を結び付けて内容を解釈し、考えを伝え合おうとしている。 必要な情報を積極的に集め整理し、文章を書き、粘り強く推敲する。 	小テスト 定期テスト
10	<p>「聞き上手になろう 質問で話を引き出す」 【2】</p> <p>「漢字2 漢字の音訓」 【1】</p> <p>5 筋道を立てて</p> <p>『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ 【5】</p> <p>「思考のレッスン1 意見と根拠」 【1】</p> <p>「意見を明確にして書こう 資料を引用して報告する」 【5】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きや音声の働きや仕組みについて、理解を深める。 記録や質問をしながら話の内容を捉え、共通点や相違点を踏まえ自分の考えをまとめる。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 根拠を明確にしなが、考えが伝わるように工夫する。 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで質問をしたり、漢字の読み書きに取り組んだりしている。 文章の構成や展開、根拠の明確さについて粘り強く考え、学習の見通しをもって文章にまとめる。 根拠の客観性や理由付けを積極的に検討しながら、意見と根拠の関係について理解を深める。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト
11	<p>「漢字に親しもう3」 【1】</p> <p>「文法2 文の組み立て」 【2】</p> <p>「聴き浸ひたる 大阿蘇」 【1】</p> <p>「季節のしおり 秋」</p> <p>6 いにしへの心にふれる</p> <p>「古典の世界 音読を楽しむ いろは歌」 【1】</p> <p>「蓬萊の玉の枝—『竹取物語』から」 【4】</p> <p>〔漢文〕 今に生きる言葉 【3】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きや単語の種類について理解する。 事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典には様々な種類の作品があること積極的に知り、学習を生かして古文を音読する。 音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を知り、古文・漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 目的に応じて、必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 根拠を明確にしなが、考えが伝わるように工夫する。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト

	<p>7 価値を見いだす 「不便の価値を見つめ直す」 【4】</p>	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的に漢字の読み書きに取り組んだり、文の組み立てを理解しようとしていたりしている。 ・進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら詩を味わおうとしている。 ・進んで古文を音読し、古典の世界に親しみ、想像する。 ・積極的に漢文を音読し、故事成語を使った文章を書く。 ・必要な情報に着目し、粘り強く要約し、自分の考えを文章にまとめようとする。 	
12	<p>「思考のレッスン2 原因と結果」 【1】 「漢字に親しもう4」 【1】 「話し合い（進行）進め方について考えよう」 【1】 「季節のしおり 冬」 「話題や展開を捉えて話し合おうグループで語り合い、ものの見方を広げる」 【4】 いつも本はそばに 本の世界を広げよう 【1】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 ・漢字の読み書きを理解し、文章の中で使っている。 ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業内容について理解しようとしていたり、漢字の読み書きに取り組んだりしている。 ・進んで話題や展開を捉え、よりよい話し合いの仕方について考えをまとめようとする。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを情動的に理解し、考えたことを伝え合う。 	<p>音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト</p>
1	<p>8 自分を見つめる 「少年の日の思い出」 【7】 「漢字に親しもう5」 【1】 「文法3 単語の分類」 【2】 「二十歳になった日」 【4】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに。語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・漢字の読み書きを理解する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにしていく。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・根拠を明確にしなが、考えが伝わるように工夫する。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字の読み書きをしたり、単語の類型を理解しようとしていたりしている。 ・進んで心情を表す表現とその効果について考え、筆者の見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。 	<p>音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト</p>
2	<p>構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 【5】 「漢字3 漢字の成り立ち」 【1】 「一年間の学びを振り返ろう 要点</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きを理解する。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに。語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>音読・朗読 発言内容 漢字プリント ワーク</p>

	を資料にまとめ、発表する」 【4】	<ul style="list-style-type: none"> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 	授業プリント 定期テスト
	②	<ul style="list-style-type: none"> 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 根拠を明確にしなが、考えが伝わるように工夫する。 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 	
	③	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 積極的に漢字の成り立ちについて理解し、辞典を使って調べている。 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をまとめ、発表しようとしている。 	
3	「ぼくが ここに」 【2】 学びを深める 「国語の力試し」 【3】	① <ul style="list-style-type: none"> 表現技法を理解する。 音読に必要な文語の決まりを知り、古典の世界に親しむことができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> 文章について理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基にとらえ、要旨を把握する。 表現の効果について、根拠を明確にして考える。 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 読み手の立場に立って、表語や語句の用法、叙述の仕方を確かめて、文章を整える。 ③ <ul style="list-style-type: none"> 積極的に詩を読み味わって考えを深め、考えたことを伝え合おうとしている。 今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末テスト	2 学期中間テスト	2 学期期末テスト	学年末テスト
1 言葉に出会うために～3 言葉に立ち止まる	4 心の動き～ 5 筋道を立てて	6 いにしえの心にふれる～ 7 価値を見いだす	8 自分を見つめる

学習上のアドバイス

<p>授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。教室は正解を言い合いに来る所ではありませんから、安心して積極的に発言・発表しましょう。 疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎時間の授業を大切にしてください。 <p>家庭学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人で考え、取り組む家庭学習の時間を設定することで、着実に学力は付いていきます。漢字学習と音読は毎日行いましょう。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字検定を年に2回、校内で実施します。プリントや掲示でお知らせします。読書については、お薦めの良書から選択して、どんどん読みましょう。
--